

① 7月26日(金) 中日新聞朝刊 なごや東版に、和菓子職人『和泉(おいずみ) 翔太』さんによる出前授業の様子が紹介されました。

瀬戸市大坂町の「和菓子処三好屋老泉」の三代目老泉翔太さん(28)を招いた出前授業が、同市東権現町の瀬戸窯業高定時制であり、生徒たちが和菓子の世界を垣間見た。(吉本章紀)

瀬戸窯高定時制 地元職人が出前授業



老泉さん(左端)から説明を受け、体験する生徒中＝瀬戸市東権現町で

和菓子の世界へ ようつこそ高校生

一年間かけて生徒たちが自分で課題を見つけて研究・発表する課題研究の授業の一環で、三年生二十人が出席。動物をかたどった人気商品「アマル生菓子」

老泉さんは「生徒の反応がとってもよくて私も楽しかった。和菓子の魅力を知りたかった」と話した。

老泉さんは「生徒の反応がとってもよくて私も楽しかった。和菓子の魅力を知りたかった」と話した。

老泉さんは「生徒の反応がとってもよくて私も楽しかった。和菓子の魅力を知りたかった」と話した。

老泉さんは「生徒の反応がとってもよくて私も楽しかった。和菓子の魅力を知りたかった」と話した。

老泉さんは「生徒の反応がとってもよくて私も楽しかった。和菓子の魅力を知りたかった」と話した。

なごや東版



夏の終わり
服部宛乃未
太平洋美術会
ニュース、情報下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp
瀬戸支局 〒489-0809
瀬戸市共栄通4-8
0561-82-3121 Fax 82-5316
日進通信部 〒470-0113
日進市栄2-214
0561-74-2002 Fax 74-2003
春日井支局
0568-81-2036 Fax 81-2797
犬山通信局
0568-61-2612 Fax 61-2613
小牧通信局
0568-72-1177 Fax 72-6530
中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

② 12月29日(日) 中日新聞朝刊 県内版に、B1グランプリでの本校生徒のボランティア活動の様子が紹介されました。

県内版

中日新聞 第3種 2019年(令和元年)12月29日(日曜日)



B-1GP 瀬戸焼そばアカデミーに審査員特別賞

活動支えた3人 感謝の笑顔

瀬戸市の瀬戸焼そばアカデミーが、十一月に兵庫県明石市で開かれた「ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリin明石」で審査員特別賞を受賞した。同団体の受賞は初。地元の瀬戸窯業高校定時制の生徒たちもボランティアとして活動を支えた。

(吉本章紀)

今大会から導入された審査員特別賞は、対象の四十七団体のブースをB-1グランプリを主催する愛Bリーグの外部審査員が訪れ、街おこしPRなどの本大会とこれまでの各市町での活動を合わせて評価する。瀬戸焼そばは、蒸し麺に

受賞を喜ぶ3人
瀬戸市東権現町で

しょうゆベースの豚の煮汁を使ったやきそば。瀬戸焼そばアカデミーは、地元でのイベント時の活動に加え、B-1のブースに瀬戸焼の器などを使ったテーブルウェアを展示するなど地元をPRしつつ、紙製の容器を採用するなど、今大会のテーマにもなった国連の持続可能な開発目標(SDGs)にも配慮した。

生徒たちは、守山光さん(二七)、平井ヒトシさん(二〇)、杉野彰さん(二七)で、

せともの祭などのイベントにも参加し、B-1グランプリの会場でも、来場者の呼び込みなどに精を出した。三人は、昨年に引き続いて活動に参画している。三人とも活動当初苦しんでいたイベントでの声掛けも克服。守山さんは「活動を通して人と人のつながりが大切だと感じた。昨年参加したことで今回も手伝うことができた。感謝の気持ちでいっぱい」と語る。平井さんも「シャイな自分を乗り越えることができた。お客さんの笑顔やありがとっの気持ちをたくさんもらえてすごくよかった」と目を輝かせる。杉野さんは「いろいろな人たちと関係を築くことができた。協力すれば何かを成し遂げることができると感じた二年間だった」と振り返った。